エコアクション 21

環境活動レポート

平成 27 年度

(平成27年7月1日~ 平成28年6月30日)

株式会社 サンダイ

平成28年9月3日 発行



盲導犬リサイクルボックス 福岡市博多区竹下2丁目5-24





よった 一 制定日 平成 25 年 11 月 1 日 改訂日 平成 28 年 4 月 10 日

私達は「かけがいのない美しい自然を次世代に」モットーに、資源のリサイクル事業を通じて、自然の保護・環境破壊の抑制の一助となれるよう努めています。

私達は、これからも環境に配慮し多種多様な要求に応えることの出来る技術開発に取り組み、技術の研鑽を重ね 安全で品質の高い資源再生技術で環境保全に貢献します。

《行動指針》

- 1. 環境法令、条例等の法的要求事項やその他の要求事項を遵守します。
- 2. 環境負荷のかからないリサイクル技術・廃棄物処理を探求し続けます。
- 3. 省エネルギー、資源の有効活用を目指して、環境負荷削減に取り組みます。
- (1)電力・燃料の消費にともなう二酸化炭素排出量の削減
- (2) 受託産業廃棄物の3R(減量、再利用、再生利用)の推進
- (3) 水資源の有効利用ため、節水・排水量の低減に努力します。
- (4) リサイクル技術・廃棄物処理技術の向上
- (5)事業全般における環境への配慮
- (6) グリーン購入を推進します。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- 4. 事故・災害を未然に防ぐための対策を確立し、常に見直します。
- 5. 環境保全のための従業員教育を積極的に行います。
- 6. 地域社会の環境活動への積極的参加と地域環境保全の推進に努めます。
- 7. 環境方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

1. 事業概要

1) 事業者名 株式会社 サンダイ

代表者名 代表取締役 出口 征一

2) 所在地 本社 〒 812-0069 福岡市東区郷口町 8-28

TEL (092) 623-8990 フリーダイアル 0120-666-508

FAX (092) 623-8766

福岡工場 〒 820-0013 飯塚市上三緒 1-30

TEL (0948) 21-5935

福岡第 3 工場 〒 812-0061 福岡市東区筥松 1-11-3

TEL (092) 292-6610

FAX (092) 292-6611

博多工場(駐車場)

〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町 15-16

ホームページ http://www.sandai-eco.jp/

3) 環境管理責任者 専務取締役 出口 正二 担当者 島本 治夫

連絡先 電話 (092) 623-8990 FAX (092) 623-8766

Eメールアドレス info@sandai-eco.jp

4) 事業の内容

■環境保全事業

- ・企業情報・個人情報廃棄書類の溶解処理
- ・感材銀リサイクル
- ・製紙原料商
- ・産業廃棄物収集運搬
- ・写真廃液処理
- ・廃棄物再生事業

■不動産事業

・不動産売買(任意売買・競売物件)、仲介

5) 事業の規模

・法人設立年月日 1986年5月

· 資本金 1000 万円

· 売上高 3.16 億円 (平成 28 年 6 月末)

・従業員 13 人

・事業所の延べ床面積 本社 495 ㎡

福岡工場 195 ㎡

福岡第三工場 743 ㎡

計 1,433 ㎡

・事業年度 7月1日~6月30日

2 事業許可の内容

産業廃棄物処理業 (中間処理)

	産業廃棄物処分業			許可品目							
番号	県・政 令市	許可番号	有効期限	廃プラ	金属 くず	廃酸	廃アル カリ	紙くず	木くず	繊維 くず	備考
1	福岡県	04020043288	平成 29 年 3 月 9 日	○焼却		〇 中和	〇中和	○焼却	○焼却	○焼却	第三工場
2	福岡市	07720043288	平成 30 年 10 月 14 日	○焼却	〇圧縮 梱包		○中和	○圧縮 梱包		○圧縮梱包	福岡工場

特別管理産業廃棄物収集運搬業

番号	県・政令市	許可番号	有効期限	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物
1	福岡県	04020043288	平成 28 年 12 月 19 日	0	0	0	0	
2	佐賀県	04153043288	平成 29 年 3 月 2 日	0	0	0	0	0
3	広島県	03450043288	平成 31 年 5 月 7 日		0	0	0	

産業廃棄物収集運搬業

性未况未初以未足加未									
番号	自治体名	許可番号	有効期限	個別許可品目	共通許可品目				
1	福岡県	04020043288	平成 28 年 12 月 19 日	・木くず					
2	福岡市	07710043288	平成 28 年 10 月 15 日	・木くず・積替え (廃酸・廃アルカリ)					
3	佐賀県	04103043288	平成 29 年 3 月 2 日						
4	大分県	04408043288	平成 30 年 6 月 21 日	・木くず					
5	宮崎県	04500043288	平成 30 年 7 月 5 日	・木くず	・汚泥				
6	鹿児島県	04600043288	平成 30 年 7 月 6 日	・木くず	・廃油				
7	熊本県	04305043288	平成 29 年 8 月 27 日	・木くず	一・廃酸				
8	長崎県	04200043288	平成 30 年 5 月 31 日	・木くず	一・廃アルカリ				
9	山口県	03500043288	平成 29 年 9 月 2 日	・木くず・繊維くず ・がれき類	┥ ・廃プラスチィック ・紙くず ・動植物性残渣				
10	広島県	03400043288	平成 29 年 3 月 27 日	・木くず・繊維くず ・がれき類	→ ・ 動植物性残温 ・ ・ 金属くず → ・ ガラスくず				
11	岡山県	03301043288	平成 32 年 4 月 26 日		□ ・カラペミョ □ ・コンクリートくずおよび				
12	島根県	03200043288	平成 31 年 2 月 23 日		一				
13	鳥取県	03101043288	平成 31 年 2 月 8 日						
14	兵庫県	02600043288	平成 29 年 4 月 22 日		以上9項目				
15	京都府	02600043288	平成 29 年 3 月 29 日						
16	大阪府	02600043288	平成 29 年 4 月 19 日	・木くず・繊維くず ・ゴムくず					
17	奈良県	02900043288	平成 29 年 4 月 26 日						
18	北海道	00100043288	平成 28 年 10 月 24 日						

産業廃棄物収集運搬業許可 福岡市

積替え保管施設

所在地 福岡市東区郷口町8番28号

面積 11.4 ㎡

産業廃棄物の種類 廃酸、廃アルカリ 保管上限 廃酸 1,000 % 廃アルカリ 1,000 %

事業計画の概要

許可を受けた産業廃棄物(上表参照)特別管理産業廃棄物(上表参照)について事業者より運搬の委託を受けた場合には、廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づく契約を締結し、排出業者からのマニュフェストの交付を受け、指定された許可処分業者の事業場に運搬する。

中間処理の認可を受けた産業廃棄物は、許可を受けた内容に添って処理を実施し、許可処分業者の事業所に運搬する。

その他の登録と許可について

登録・許可	都道府県▶市名	許可番号	有効期限
解体工事業登録	福岡県	第 364 号	平成 32 年 8 月 5 日
第一種フロン類充塡回収業者	福岡県	第 40-1-1390	平成 32 年 1 月 22 日
使用済自動車引取業登録	福岡市	第 20771000520	平成 32 年 9 月 14 日
廃棄物再生事業者業者登録	福岡県	第 105 号	平成 22 年 9 月 14 日登録
資源回収物回収協定参加事業者	福岡市	第13号	平成 28 年 9 月 30 日
古物商許可	福岡県	許可第 31669	平成9年3月4日交付

認証

プライバシーマーク

認証番号 第 18510010(04)

有効期限 平成29年2月15日

施設等の状況

① 運搬車両の種類と台数及び低公害車の導入状況

平成 28 年 8 月 31 日現在

車体の形状	最大積載 量	燃料	燃費基準達成
脱着装置付コンテナ車 (アーム式)	3650 kg	軽油	平成 27 年度燃費基準達成
機械式収集車(圧縮板式)	2000 kg	軽油	平成 27 年度燃費基準達成
機械式収集車(圧縮板式)	2800 kg	軽油	
機械式収集車(圧縮板式)	2450kg	LPG	
平ボディー車	2000 kg	軽油	平成 27 年度燃費基準達成
平ボディー車	2000 kg	軽油	平成 27 年度燃費基準達成
平ボディー車	2000 kg	軽油	平成 27 年度燃費基準達成
タンクローリー車(液体ポンプ方式)	9970kl	軽油	
バン保冷車	2000 kg	軽油	平成 12 年基準 50%低減車
バン ハイエース	1250kg	軽油	平成 27 年度 燃費基準達成
バン 箱車	5500 kg	軽油	平成 27 年度 燃費基準達成
バン ウィング車	3100kg	軽油	平成 27 年度 燃費基準達成
バン ウィング車	2900kg	軽油	平成 27 年度 燃費基準達成
バン ウィング車	13300kg	軽油	平成 27 年度 燃費基準達成

② 中間処理施設

焼却施設



※ レントゲンフィルムを焼却します。

福岡工場 飯塚市上三緒字神田 1 番 30						
産業廃棄物の種類	処理の方法	最大処理量				
廃プラスティック類		11.6kg/時間 0.093 t/日 (8 時間)				
紙くず	焼却	30.8kg/時 0.247t/日 (8 時間)				
木くず	が光云り	30.3kg/時 0.242 t/日 (8 時間)				
繊維くず		28.3kg/時 0.226t/日 (8時間)				
設置年月日	許可番号	許可期限				
平成 22 年 6 月 25 日	第 40020043288 号	平成 29 年 3 月 9 日				

中和施設



福岡工場飯塚市上三緒字神	国岡工場 飯塚市上三緒字神田1番 30						
産業廃棄物の種類	処理の方法	処理能力:最大保管量					
廃酸 ・廃アルカリ	中和	8㎡ 廃酸 10㎡廃アルカリ 10㎡					
設置年月日	許可番号	許可期限					
平成 15 年 8 月 1 日	第 40020043288 号	平成 29 年 3 月 9 日					

中間処理(圧縮・梱包)



福岡第三工場福岡市東区筥村	公1丁目11番3	
産業廃棄物の種類	処理の方法	処理能力
廃プラスティック		廃プラスティック:119.68t/(8時間)
紙くず	→ 一川・一部・一村 一川 ト	紙くず 128.40t/(8時間)
繊維くず		繊維くず 229.44t/(8時間)
金属くず		金属くず 106.40 t/(8時間)
設置年月日	許可番号	許可期限
平成 25 年 10 月 15 日	第 07720043288 号	平成 30 年 10 月 14 日

3 処理の実績

期間 平成27年7月1日 から 平成28年6月30日

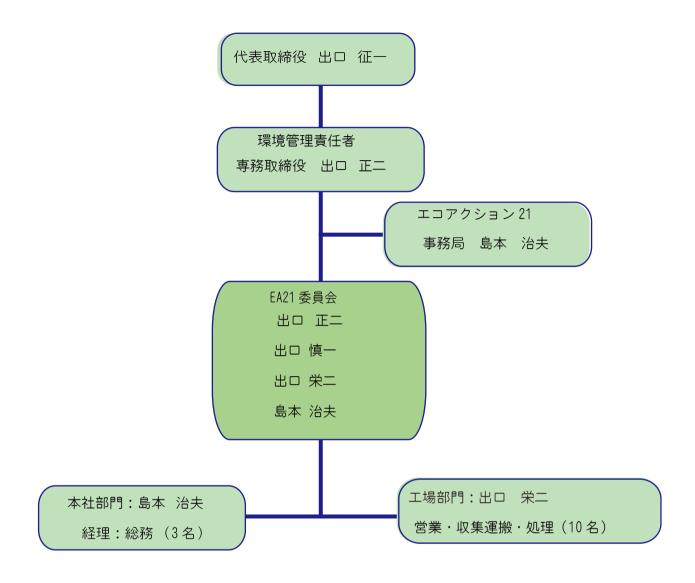
受託した廃棄物(産業廃棄物は廃酸と廃アルカリのみで、他は全て有価物)

処理方法等	廃棄物等種類	処理量(t)		
	廃酸	1,073		
	廃アルカリ	460		
	古紙	5,782		
収集運搬	レントゲンフィルム	224		
	アルミ系スクラップ	96		
	雑品系スクラップ	39		
	廃プラスティック	10		
収集運搬量合計 7,73				

	中間処理					
廃酸	銀回収の中和	1,073				
廃アルカリ	中和	460				
古紙	分別・圧縮・梱包	5,782				
レントゲン フィルム	燃焼	224				
鉄系スクラ ップ	分類(一部解体)	47				
アルミ系ス クラップ	分類(一部解体・ 圧縮)	96				
雑品系スク ラップ	分類(一部解体)	39				
廃プラステ ィック	圧縮	10				
处	1理量計	7,731				

中間処理後(委託処理)	備考	処理量(t)
回収銀 売却	凝集物はセメント原料	
再生処分業者		1,533
再生処分業者	凝集物はセメント原料	
製紙原料として売却	機密書類は製紙会社へ直 行	5,782
焼却灰	銀精錬所へ素銀として売 却	
金属資源として売却		47
金属資源として売却		96
破砕後金属資源		39
再生プラスティック		10
処理:	量計	7,507

4 エコアクション 21 組織図 (対象組織)



本社 〒812-0069 福岡市東区郷口町8-28

フリーダイアル 0120-666-508 TEL (092) 623-8990 FAX (092) 623-8766

福岡工場 〒820-0013 福岡県飯塚市上三緒 1-30 TEL (0948)21-5935

福岡第3工場 〒812-0061 福岡市東区筥松 1-11-3 TEL (092) 292-6610 FAX (092) 292-6611

5 処理のフローシート

■ レントゲン(製版)フィルム

医療機関等から、レントゲンフィルムを袋に入った状態で引取します。個人情報なので機密書類としての取扱い を行います。印刷業界からは製版用フィルムを引取します。









機密文書として鍵付き車両で回収

紙類とフィルムに分離

焼却し、焼却灰が粗銀

(福岡工場)

銀精錬所へ売却

(本社で機密処理)

古紙回収 (有価物)

盲導犬サポートリサイクル Box や工場・企業から一般家庭まで幅広い範囲で排出される古紙を回収します。







品種ごとに分別 (福岡第三工場)



圧縮梱包機により圧縮 製紙メーカーへ納入

■ 写真廃液処理(産業廃棄物)

写真現像所等から写真廃液を回収します。廃酸から銀回収します。





銀回収電解装置



電解装置のドラムに電着した銀

■ 産業廃棄物(廃酸・廃アルカリ等)
廃酸・廃アルカリは貯蔵タンクで保管した後、自社のタンクローリーで委託先の最終処理工場へ搬送します。





■ 小型家電・金属系スクラップ等 福岡第三工場へ持込された小型家電や、店舗や病院等で処理委託された備品や機器類は引取後、分別・解体等 を実施します。





6 環境目標

平成 26 年度は、基準値に対して①電気使用量 ②軽油:ガソリン使用量 ③ 水道使用量 -4%削減を目標とします。(廃棄物の削減は-2%)

		目標基準1	直(平成 24 年度	要績値)	平成 2	.7 年度目標 (÷	4%)	
項目	単	,	上期	下期		上期	下期	
	位	年間	7月~12月	1月~6月	年間	7月~12月	1月~6月	
1.二酸化炭素排出量の 削減	kg- C02	320,598	160,299	160,299	301,362	150,681	150,681	
①電気使用量の削減								
本社 従量電灯 B	kWh	6,426	3,213	3,213	6,040	3,020	3,020	
福岡工場 従量電灯 B	kWh	9,138	4,569	4,569	8,590	4,295	4,295	
福岡工場 低圧電力	kWh	25,621	12,811	12,811	24,084	12,042	12,042	
福岡第三工場 産業用電力 A	kWh	147,150	73,575	73,575	138,322	69,161	69,161	
計	kWh	188,335	94,168	94,168	177,336	88,518	88,518	
②車両の燃料使用量の			直(平成 24 年度			7年度目標(∸		
削減		年間	上期	下期	年間	上期	下期	
軽油	リッ トル	80,573	40,287	40,287	75,738	37,869	37,869	
ガソリン	リッ トル	4,424	2,212	2,212	4,158	2,079	2,079	
			直(平成 25 年度					
2.廃棄物排出量の削減		年間	上期	下期	年間	上期	下期	
	١,	51	25.5	25.5	49	24.5	24.5	
3.水使用量の削減		目標基準値(平成24年度実				.7 年度目標 (÷	· ·	
	2	年間	上期	下期	年間	上期	下期	
本社	m³	71	36	36	66.8	33.4	33.4	
福岡工場	m³	2,008	1,004	1,004	1,887.6	943.8	943.8	
福岡第三工場	m ³	199	100.0	100	187	93.5	93.5	
計	m³	2,278	1,139	1,139	2,141.4	1.070.7	1.070.7	
	8	目標基準値	直(平成 25 年度	要実績値)		成 27 年度目標		
4.グリーン購入の推進					年間	上期	下期	
			11 (数量)	36)	項目 13	項目13	項目 13	
	リサイ	イクル技術・産	業廃棄物処理	技術の向上	平成 27 年度			
5.事業活動における環	及びり	リサイクル手段	は・品目の増大	等に取り組				
境配慮	みの思る。	思考を測り、次	7年度以降の実	施に努め	・盲導犬サポー	トリサイクルフ	ボックスの増設	
6.地球環境保全の推進		第3工場周辺地	域での清掃	1回/月工場月	周辺地域の清掃を	実施する。		

- ※ 二酸化炭素の排出係数には、九州電力の平成25年度実排出係数 0.613 kg-CO2/kWhを使用した。
- ※ 2.廃棄物排出量の削減

表の「廃棄物」は、古紙やスクラップ回収し、分別過程に発生した廃棄物(生活系可燃ごみを含む)

7 環境目標の達成状況及びその評価結果

削減目標達成率 (%) = ((目標値-実績値)/目標値+1)*100 増加目標達成率 (%) = ((実績値-目標値)/目標値+1)*100

実施状況の判定

〇:実施されている Δ :実行されているが十分ではない (達成率 70%以内)

X:実行されていない もしくは達成率 70%以下

-:判定できない・該当しない

項目	単位	目標 基準値	目標値=	平成 27 年度実績値									
			X 0.94		1	1	Т	1	1	1	T	ı	1
		年間	年間	年間	達成率	達成	半期	7月~	達成率	達成	1月~	達成率	達成
		基準値	目標値	実績値	(%)	状況	目標	12月	(%)	状況	6月	(%)	状況
1.二酸化炭素	kg-	320,598	301,362	377,641	74.7	Δ	150.681	191,766	72.7	Δ	185,875	76.6	Δ
排出量の削減	CO ₂												
①電気使用量		目標	基準値	^集 值									
の削減		基準値	X0.94		1	1	<u> </u>	平成 27 年度	実績値	1	1	ı	1
本社	kWh	6,426	6,169	6,040	100.0	0	3,020	2,777	108.1	0	3,263	92.0	Δ
従量電灯 B													
福岡工場	kWh	9,138	8,590	9,203	92.9	Δ	4,295	4,292	100.1	0	4,911	85.7	Δ
従量電灯 B													
福岡工場	kWh	25,621	24,084	35,807	51.3	×	12,042	17,195	57.2	×	18,612	45.4	×
低圧電力													
第三工場	kWh	147,150	138,321	142,608	96.9	Δ	69,161	69,102	100.1	0	73,506	93.7	Δ
産業用電力 A													
計	kWh	180,335	180.802	193,658	92.9	Δ	88,517	93,366	94.5	Δ	100,292	86.7	Δ
②車両の燃料		目標	基準値										
使用量の削減		基準値	X 0.94		•	1		平成 27 年度	実績値	T	1	1	1
軽油	リッ トル	80,573	75,739	95,064	74.5	Δ	37,869	48,919	71	Δ	46,145	78.1	Δ
ガソリン	リッ トル	4,424	4,159	5,321	72.0	Δ	2,079	2,658	72	Δ	2,663	71.9	Δ
2.廃棄物排出		目標	基準値	年間	達成率	達成	半期	7月~	達成率	達成	1月~	達成率	達成
量の削減		基準値	X0.96	実績値	(%)	状況	目標	12 月	(%)	状況	6月	(%)	状況
	トン	51	49.0	88.2	19.9	×	24.5	49.8	-3.5	×	38.4	43.2	×
3.水使用量の		目標	基準値										
削減		基準値	X 0.94				2	平成 27 年度	5実績値				
		年間	年間	年間	達成率	達成	半期	7月~	達成率	達成	1月~	達成率	達成
		基準値	目標値	実績値	(%)	状況	目標	12月	(%)	状況	6月	(%)	状況
本社	m³	71	66.7	66.0	101.1	0	33.4	31.0	107.1	0	35.0	95.1	Δ
福岡工場	m³	2,008	1,887.5	2,539.0	65.5	×	943.8	1330.0	59.1	×	1,209.0	71.9	Δ
第三工場	m³	199	187.1	311.0	33.7	×	93.5	141.0	49.2	×	170.0	18.2	×
計	m³	2,278	2,278	2,916.0	63.8	×	1,070.7	1,502.0	59.7	×	1,414.0	67.9	×
4.グリーン購入	の推進							平成 27 年度	実績値				
			年間	年間	達成率	達成	半期	7月~	達成率	達成	1月~	達成率	達成
			目標値	実績値	(%)	状況	目標	12月	(%)	状況	6月	(%)	状況
基準値(平成	25 年度	 [実績)	13	18	138.5	0	13	17	130.8	0	18	138.5	0
項目 11 (数量 36)													
5.事業活動における環境配慮													
リサイクル技術・産業廃棄物			・リサイ	・リサイクルボックスの設置を開始した。社会貢献として盲導犬協会にリサイク									
処理技術の向上及びリサイク				ルボックスから回収量に応じて寄付。ホームページで公開。									
ル手段・品目の増大等に取り)									
組み思考を測り、次年度以降													
の実施に努める。													
6.地球環境保全の推進福岡第3工場周辺地域での清掃活動 1回/月工場周辺地域の清掃を実施する。					1								
7月 8月 9月			10月	11月	12月	<u> </u>	1月	2月	3月	4)		月 I	6月
	10 🖯	27 🖯	25 🖯	29 🖯	27 🖯		31 🖯	28 🖯	28 🖯	25 (7
	· ~ □	۱ ۱		۷ ،	١ ـ ـ	l	· ·		ـ د د	20		ے ر	

[※] 二酸化炭素排出量は、レントゲンフィルム焼却による排出量を除いています。

環境目標の達成状況の評価(年間)

項目	評価コメント	評価者・評価日
1.①電気使用量の削減	福岡工場低圧電力が大幅に増加している。原因は大手ネット現像所を 現像廃液から銀回収装置の稼働時間が延長したことによる。	島本 8月27日
1.②車両の燃料使用量の 削減	増加。遠隔地にある大手得意先の稼働率が向上し走行距離の増加。スクラップ回収作業の増加による。	島本 8月27日
2.廃棄物排出量の削減	倍増している。原因は事業を資源回収にシフトさせており、分別の過程で発生している。	島本 8月27日
3.水使用量の削減	福岡工場は焼却装置の配管から濾水していた。又1月に配管が冷凍し破裂が発生した。 福岡第三工場は敷設された配管からの濾水があった。	島本 8月27日

8 環境活動計画の取組結果及び評価と次年度の取組内容

		大次の可面と次十次の状態で	取	Г		
取組項目		活動計画の内容		評価と次年度の取組内容		
	電気使用量の 6%削減(平成 24 年度比)	事務室、工場等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯。 倉庫、使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯。 パソコン、プリンター等の電源を使用時のみ入れる。 空調を必要な区域や時間に限定し、適温化(冷房 28 度程度、暖房 20 度程度)し使用している。	0	省エネ活動は事務所で、処理量が増加する機器類の負荷が大きい。		
1.二酸化炭素 排出量削減	軽油使用量の 6%削減(平成 24 年度比)	エコドライブ等運転方法の配慮(急発進・急加速や空ぶかしの排除、停車中のエンジン停止等)を励行している。タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値(メーカー指定の空気圧)を保つように努めている。 排出先の状況を把握し、適切な収集運搬計画を立て最適な車両を選択する。	0	平成27年度燃費基準達成車10台 /14台 LPG車 1台 低公害車比率78.6% 前年比1台の減車を実施した。 省エネ運転=安全運転が浸透できている。		
	ガソリン使用量 の 6%削減(平 成 24 年比)	エコドライブ等運転方法の配慮(急発進・急加速や空ぶかしの排除、停車中のエンジン停止等)を励行している。 タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値(メーカー指定の空気圧)を保つように努めている。	0	営業車2台はハイブリット車 1台は新型ハイブリットに更新した。		
	二酸化炭素排出量の約 65.5%が軽油です。当社の営業戦略は盲導犬サポートリサイクルボックスによる古紙回収とスクラップ回収を増加させ、レントゲンフィルム回収の減少を補います。従って今後の環境活動を環境効率指標とします。 環境効率指標(原単位)=二酸化炭素排出量($^{\land}_{>}$)/廃棄物回収量($^{\land}_{>}$) 平成 25 年度=320,898/6,541=49.06 平成 26 年度=360,890/6,984=51,67 平成 27 年度=380,546/7,731=49,22 現在の環境活動は当社の生き残り的には不可能であり、来期以降は環境効率指標(原単位)三年間の平均 49,98 の $^{\land}$ 0 の 1%として取り組みを実施する。					
2.廃棄物排出 量の削減	平成 25 年度比÷ 4%削減	廃棄物量を記録する	0	古紙・スクラップ量が増している。分別により付加価値が高くなるが、廃棄物量が増大する。しかし、一手間かける事で有価物化する判断は、現場作業者に委ねられるので、次年度も継続します。		
3.水使用量削減	水使用量の6% 削減(平成24年 度比)	蛇口に節水こまを設置。 トイレのタンク水量を削減。節水弁取 り付け		福岡工場 焼却炉の内部から濾水。原因特定及び処置に時間がかかってしまった。福岡第三工場地下埋設配管から濾水していた。		
4.グリーン購 入の推進	11 項目	グリーン購入を記録	0	GPN リストの見直しを実施。		
5.事業活動によ		リサイクルボックスの設置	0	7ヶ所 9 台設置。		
6.地球環境保全		福岡第3工場周辺地域での清掃活動 1回/月工場周辺地域の清掃を実施する。	0	1回/月に実行中。次年度も継続。		
		•	•	- 中本書にお 川口労一		

実施責任者 出口栄二

9 主な環境関連法令等への違反、訴訟等の有無

9 土は環境関連法令等への違反、	訴訟寺の有無		
法令・条例等	要求事項	適用される事柄	順守確認
	委託基準	産業廃棄物処理 許可、 契約	0
	マニュフェスト管理	5年間の保管義務	0
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管基準	産業廃棄物の保管場所	0
	運搬時の表示、書類の携行	車両表示版、許可証 (写)	0
	一般廃棄物の処理基準	収集運搬の基準	0
	第1条の7	福岡工場	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則	一般廃棄物を焼却する焼却 設備の構造	焼却炉	0
	特定施設 71の4	福岡工場	
水質汚濁防止法 	産業廃棄物処理施設	中和施設 50㎡ 日以下	0
25 (1.182)	第5条の1 設置届け		_
浄化槽法 	第8条 保守点検	福岡工場	0
	第9条 清掃		
騒音防止法	特定施設		規制値以下
	1.金属加工施設	福岡第3工場	
福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例	二 液圧プレス		
+F = + + P + 1 \ +	】第三種区域 - # # # # # #		
振動規制法	特定施設 1.金属加工施設		0
 福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例	1.並属加工施設 二 液圧プレス	圧縮梱包機	
	第2種区域		
特定家庭用機器再商品化法	4品目家電のリサイクル推 進	小型家電引取	0
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する		認定事業者になる予定な	0
法律		L	
使用済自動車の再資源化等に関する法律	自動車の所有者の責務	社有自動車のリサイクル	0
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法 律	事業者できる限り環境物品 等を選択するよう努める	GPN 商品採用の推進	0
	第11条	 福岡工場中和槽	
 毒物及び劇物取締法	取り扱い	(硫酸)	0
	保管管理		
	(第19条、第20条、第 21条) 第一種特定製品廃棄等実施 者及び第一種フロン類回収 業者のフロン類の引渡義務		
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	第一種フロン類充塡回収業 を行おうとする者は、その 業務を行おうとする区域を 管轄する都道府県知事の登 録を受けなければならな い。(第 27 条)引取証明 書の交付(第 45 条)	第一種フロン類充塡回収 業者登録 第 40÷1÷1390	0

平成27年9月3日に環境関連放棄等の変更、改正の確認及び順守の確認を実施しました。 法規等への違反及び訴訟はありません。又、関係当局ならの違反等の指摘は過去4年間ありません。

10 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

エコアクション21活動3年目で2回目の通期での活動となった。

二酸化炭素排出量削減は前年比、5,4%(19,656t/CO₂)増加した。

軽油により 8,886t/ 00 全体の 45.2%を占有します。

要因は古紙の517t、スクラップ系144t等の増加によります。

レントゲンフィルムや写真廃液から銀回収が当社の主たる営業品目であり、近い将来にはそれらが無くなる事が予測され、古紙とスクラップ回収にシフトしている過程で、環境活動の転換が必須となります。

環境効率指標(原単位)=二酸化炭素排出量(トッ)/廃棄物回収量(トッ)として、過去3年が以下の数値となります。

平成25年度=320,898/6,541=49.06

平成 26 年度=360,890/6,984=51,67

平成 27 年度=380,546/7,731=49,22

次年度は3年間の平均値、49,98を環境効率指標(原単位)として次年度は-1%を二酸化炭素排出量削減に代えて 環境目標として活動を実施します。

11 事業活動における環境配慮

盲導犬サポートリサイクルボックスを7ヶ所(9台)設置しました。

- ① 福岡市東区箱崎1丁目6
- ② 福岡市東区松田3丁月10-31
- ③ 福岡市博多区竹下2丁目5-24
- ④ 福岡市東区馬出5丁目24-5
- ⑤ 福岡市東区八田1丁目5-23
- ⑥ 東区松崎1丁月51-3
- ⑦ 北九州市小倉南区城野1丁目11

収益の一部を公益財団法人 九州盲導犬協会へ寄付を実施させていただきま した。



公益財団法人 九州盲導犬協会

寄付額(円)

	7 25 (17)				
	6月	17,350			
	5月	18,780			
平成 28 年	4 月	14,330			
十成 20 平	3 月	12,140			
	2 月	8,760			
	1月	7,180			
	12 月	13,150			
	11 月	7,590			
平成 27 年	10 月	8,100			
平成 27 平	9月	7,340			
	8月	7,220			
	7月	6,660			
合計	128,600				